

すぎのこだより

作：のあの杜



◆CONTENTS◆

- 『理事長・前理事長挨拶』・・・・・・・・・・②
- 『ひのきの杜共生改修工事・みずほの家10周年
みずぎの郷7周年』・・・・・・・・・・③
- 『特集：各事業所の活動や行事』・・・・・・・・④⑤⑥
- 『職員リレー・みんなの部屋』・・・・・・・・⑦
- 『守る会・ボランティア・寄付
なんでも掲示板』・・・・・・・・・・⑧



【すぎのこ会HP】

<http://www.suginokokai.or.jp>



Instagramはこちら

ホームページと併せて、是非ご覧ください





『理事長就任にあたって』



《 理事長 岩崎 好宏 》

前理事長からバトンを受け継ぎ、7月1日にすぎのこ会の理事長に就任いたしました。

現在、高齢者人口がピークに向かう中、生産年齢人口は減少しており、働き方改革に対応しつつ福祉人材を確保・育成しなければならない厳しい環境にあります。また、福祉ニーズが多様化・複雑化する中で、社会福祉法人は、従来の子ども・障害者・高齢者といった枠組みを超えて、横断的・包括的に福祉サービスを提供することが求められています。

このような社会福祉法人を取り巻く環境が激変する中、設立47年という歴史あるすぎのこ会の理事長に就任することとなり、身の引き締まる思いです。いざという時に頼りになる、地域の皆さんに必要とされる法人を目指して、役職員の先頭に立って努力してまいりますので、これまで以上のご指導とご支援をお願い申し上げます。

幼少期に自宅付近に設立された「すぎのこ学園（現：すぎのこ）」は、私に“共生と共創”の考えを自然に教えてくれました。障害があっても仕事に励む姿、ひとり一人が役割を持って生活する姿、イベント参加や空き缶回収などを通じて地域交流や地域貢献に取り組む姿など、40年以上前から共に生き、共に創ることを実践してきた利用者・職員は、障害福祉の先生であり先駆者です。

様々なことを学ばせていただいた利用者も前期・後期高齢者に差し掛かってきました。親なき後を心配され、すぎのこ会に託された多くの保護者の皆さんの想いに応えるためにも、「この街に住んでよかったよね。仲間もいるし幸せだね。」そんな風に感じていただけるように恩返ししてまいります。

『理事長退任にあたって』



《 会長 岩崎 俊雄 》

去る6月30日に開催された理事会において、一身上の都合により理事長職を退任し、7月1日をもって会長に就任する案件が承認されました。理事長在任中は、皆様には格別のご支援、ご協力を賜り、大過なく法人運営ができたのではないかと、思っております。心よりお礼申し上げます。

顧みますと、すぎのこ会は昭和49年8月27日に設立発起人会を立ち上げたのを契機に、その後昭和50年6月10日に厚生大臣の設立認可を得て、同年6月24日に誕生しました。それからは、役職員と利用者が一丸となって、『なんの負けるか 今にみろ』を合言葉に、夢を追いかけてきました。

今になって思えば、嬉しいこと、そして辛く悲しい出来事も多々ありましたが、利用者の皆さんの声を聴きながら、就労支援の抜本的強化、地域での生活、生活を目的とした施設の整備等々、時代を先取りした施策を展開できたのではないかと考えています。

この間の私を支えたのは、母校の日本社会事業大学のキャンパスに設置されているアガベ像の碑文『ウブゴエカラ灰とナリテマデ』と、校歌に謳われた『忘我の愛と智の灯（トイ）』でした。そして、それがすぎのこ会の想いでもありました。

今後は、新理事長の岩崎好宏氏を支え、トータルサポートシステムのより一層の充実に努める所存でございますので、これまで同様のご厚情をすぎのこ会にお寄せ下さいようお願いし、退任のご挨拶といたします。

ひのきの杜共生改修工事完了のご報告



『共生 × 新化』

平成15年（2003年）4月に開設した、ひのきの杜共生は、来年“20周年”を迎えます。日頃からの皆様のご支援とご協力に感謝いたします。

昨年の秋より、「ともに生きていく暮らし」と「その人らしさ」「感染症対策」をテーマに、全室個室化、暮らしのスペースの拡充を目指し、改修工事を進めてまいりました。

おかげさまで、皆様のご協力のもと、7月末に完成いたしました。これからも、皆様の安心と安全、そして「子を想う親の気持ち」に寄り添い、すぎのこ会における「トータルサポート」の前進に努めてまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

施設長 軽部 慎吾



【デイルーム】



【居室(全室個室)】

みずほの家&ちょっ蔵すぎのこ10周年

Opening anniversary~2012年6月~



10年間を振り返り、契約を交わした利用者さんは75名、職員は30名の方々と関わりを持つことができました。就労等ステップアップを目指して退所した利用者の方々も多く、きっと今も頑張っていることでしょう。現在利用中の方々も、作業内容の変更はありましたが、「働く汗と喜び」の心は変わることなく作業に取り組んでいます。

店舗についても、当初はメニューの開発等々右往左往しておりましたが、やはり王道のじゃがいも入り栃木焼きそばといもフライをメインにご好評をいただいております。

10周年を迎え、全ての利用者・お客様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

所長 落合 恭子



みすぎの郷7周年

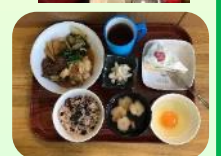
Opening anniversary~2015年6月~



『複合型施設（特別養護老人ホーム）みすぎの郷』は、おかげさまで7周年を迎えることができました。たくさんの方々とのお会いとお力添えに心より感謝申し上げます。

利用される方はもちろんですが、地域の皆さんとのつながりを大切にして参りました。みすぎの郷としてここにいること、いられることに感謝しております。これからも「喜笑天結」を願い、ご要望にお応えできる施設となるよう、職員一同努力して参ります。

施設長 木澤 貴





各事業所の活動・イベント特集



— ひのきの杜 —

5月といえば“端午の節句”ということで、蔵の街の巴波川や館林のつつじが岡にある鯉のぼりを見に行きました。蔵の街ではスタバで買った限定フラペチーノを飲みながら優雅に楽しみました。館林の鯉のぼりは計4000匹以上とのことで、まさしく圧巻でした。6月には紫陽花を見に太平山へ！名物のお団子や焼き鳥を食べて楽しくお出掛けしました。

支援主任：川田良実



— ひのきの杜共生 —

夏の行事として、流しそうめんとスイカ割りを実施しました。夏の風物詩でもありますね。そうめんが予想よりも早く流れ、なかなか苦労される方がちらほら。スイカ割りもキレイに割れて、お上手ですね♪この後、皆で美味しく頂きました！コロナ禍で行事が限られる中、皆さんの喜びのため工夫して開催するよう努めています。利用者さんの笑顔が飛び交う光景を目のあたりにすると、私たち職員も心から嬉しく思います。

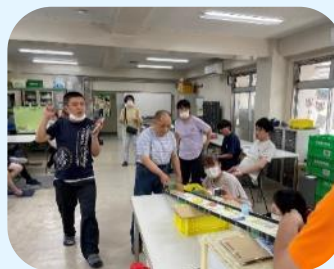
総括主任：矢口健太



— すぎのこ —

すぎのこでは、7月7日(木)に七夕の行事を行いました。流れ星ゲームを楽しんだり、みんなで活動時間に飾り付けをした笹の前で記念撮影をしたり…、おやつを食べ、今年も七夕の素敵な思い出ができました。

支援主任：駒場理美



— はまなす —

はまなすにとって初めての春♪新しい利用者さんも増えて、夏に向け盛り上がってきました(^-^)。そのような中、迎えた7/19は、待ちに待った夏祭り。焼きそば、フルーチェ作り『おいしくなあれ』と皆で愛情たっぷりに作りました(*‘▽’) お昼の後は夏祭り本番！ヨーヨー釣りにお菓子釣り、輪投げに的当て、お面も被って夏祭りを満喫しました。おやつにフルーチェも食べて、思い出(お腹)いっぱいの夏祭りになりました☆

支援主事：瀬下祐生



— けやきの家 —

7/2の土曜開設では、施設内の飾りつけや短冊、七夕リース作りをしました。7/11(月)「暑い夏を腹いっぱい夏いっぱい涼しく楽しく過ごそう!!」と昼食に流しそうめんを行いました。どちらも、天気にも恵まれ、真剣な眼差しと集中力で楽しい時間を過ごすことができました。他にも魚釣りゲームやかき氷作りなどなど・・・暑い夏を楽しく過ごしていきたいと思います。

支援主事：片野恵美

